

スタジオから



早いもので今年も残すところあと1か月です！

今回は、来年で放送から10周年を迎えるみやこハーバーラジオの長寿コーナー『宮古文化研究所』を紹介します。

『宮古文化研究所』は宮古市の歴史や文化についてスタッフが掘り下げ、テーマごとの専門家や当事者の方にインタビューをして教えていただくコーナーです。毎月第2・第4火曜日の午後1時から放送しています。

今まで「宮古の年中行事としきたり」「郷土芸能保存会の活動」「宮古の方言」「宮古市出身の偉人」「宮古の生き物」「自然災害・戦争の体験談」「農林水産や鉱山など産業の歴史」「公共施設や交通の発展など街づくりの歴史」「老舗企業の沿革」と、多岐にわたるテーマをとりあげてきました。

取材出演に、ご協力くださった皆さん！

ありがとうございます。2025年は日本のラジオ放送開始100周年にちなんで、宮古とメディア、情報通信技術の移り変わりも特集しました。

これからの特集で調査してほしい宮古市の歴史文化、もう一度聴きたい内容、次世代に語り継ぎたい宮古の思い出などございましたら、ぜひおたよりをお寄せください。

●「みやこハーバーラジオ」放送中！

FMラジオ【82.6MHz】

●インターネットの「リスラジ (ListenRadio)」
(<http://listenradio.jp>)や「サイマルラジオ」
(<http://simulradio.info/>)でもお聴きいただけます。

スマートフォンでは、無料アプリ「リスラジ (ListenRadio)」をダウンロードし聴くことができます。

※川井地域は川井テレビ (11ch) で放送中

●X (旧Twitter) アカウント「@miyakofm」(右記二次元コード)

●Instagramアカウント「miyako_harbor_radio」(右記二次元コード)

●お便り・ファクス・メールお待ちしております

〒027-0076 宮古市栄町4番地 三陸鉄道本社1階
みやこハーバーラジオ宛て

FAX77-3936 ☎826@miyakofm.com

問 宮古エフエム放送 (☎77-3399)



俳句に親しむ

季題「冬銀河」「綿虫」

豊島喜美子 選

【特選】

冬銀河見つめ数式暗唱す

坂下健治

評|| 試験勉強だろうが。宇宙の
摂理に触れながら孤独に頑
張る若者の姿が頼もしい。

綿虫や日差しの縁を歩みけり

内藤賢一

評|| 綿虫を「飛ぶ」や「舞う」
でなく「日差し」の縁を歩
む」と表現したところが
詩的で美しい。

【入選】

ごめんねと言えた向こうは冬銀河

大森和子

反り返る夜行列車や冬銀河

駒井和子

羽風無く綿虫我を越えてゆき

北村克哉

綿虫や幼き日々を追いかけて

佐藤栄子

綿虫や縛るものなく風にのる

島香良

綿虫を手に受け見るや拡大鏡

摂待初子

音消して無念無想や冬銀河

長澤智子

群れつつも淋し淋しと冬銀河

中野幸子

【広告】

創業99周年

リフォーム承ります

畳・襖・障子・網戸・クロス
カーペット・カーテン
クッションフロア・内装工事

内装リフォーム

大森畳店

お気軽にご相談ください！お問い合わせは▼
☎0120-747-465
〒027-0061 岩手県宮古市西町三丁目2-4
<http://www.oomoritatami.jp/> 大森畳店

広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について、市が推奨などをするものではありません。

◆次の季題「日記買心」「水鳥」※12月4日(休)消印有効

◆応募は一人3句までです。

◆いただいた句を添削することがあります。

◆はがきまたは封書で、句のほかに住所、氏名(ふりがな)、電話番号を書いて、〒027-8501(住所不要)宮古市役所「広報みやこ」係へ応募してください。

◆今回の投稿者は23人でした。ありがとうございます。

【選者より】

○季語は一句に一つが基本です。傍題も可とします。

○小中高生の作品歓迎。

◇選者詠「幼子の遺骨の帰郷冬銀河 喜美子」

俳句は作者を離れ読み手にゆだねられる不思議な文芸です。

「津軽石・藤畑駒形神社」

市教育委員会文化課 編

津軽石小学校から南に約300m、小高い丘の上に藤畑駒形神社があります。この神社の由来として、鎌倉時代初期の豪族「閉伊頼基」の妻であった「音羽御前」の愛馬が死んだのが藤畑の地であったとされ、その後に音羽御前が愛馬の亡骸を埋め、馬頭観音堂を造って供養したという伝承が残されています。この神社の所在する藤畑から豊間根にかけての一带は閉伊氏一族の重要な馬産地であり、駒形神社はその鎮守（守り神）であった可能性があります。境内の中には、日露戦争時の馬魂碑（軍馬の供養碑）が祀られており、馬産地「藤畑」で育てた軍馬が戦地へと送られていたことが分かります。また、今から50年ほど前までは藤畑の地でも牛馬を飼育し、農耕や物資の運搬などで活躍していました。

旧暦の4月20日には祭礼が行われ、最近まで拝殿の中へ馬が入って参拝していました。今でも祭日には市内だけでなく遠野から参拝に訪れる人がいるなど、地元の

人や牛馬の関係者からも親しまれている神社です。お堂の中には「塩の道」を行く牛を描いた額絵が奉納されており、古くから人々と生活を共にした牛馬への感謝と、牛馬と共に生きた先人の営みが伝わってきます。



藤畑駒形神社



日露戦争の馬魂碑

宮古市教育委員会が策定した「文化財保存活用地域計画」では、未指定の文化財も含めた「地域の宝」を活用し、後世に伝え残すため、文化財保存活用区域を設定し「宝マップ」にまとめます。今回は9つある区域の中から「津軽石区域」について紹介します。

市長のひとり言

私の普通は、あなたの普通ではありません。昔の当たり前は、今の当たり前ではありません。

例えば、「家事は女性がするもの」。無意識に抱いてしまう決めつけや思い込み、これが「アンコンシャス・バイアス」です。

私たちは日々の生活の中で、性別、年齢、国籍、職業、慣習など、さまざまな属性に基づいて人を判断してしまいがちです。「普通は〇〇だ」「男性は〇〇だ」「外国人は〇〇だ」などという考えは、自分や他者の可能性を狭めたり、誰かを傷つけてしまったりする恐れがあります。

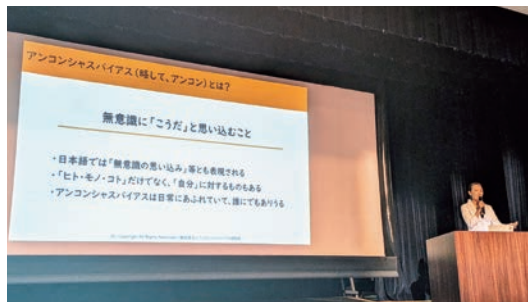
対処法は、「頭ごなしに決めつけないこと」「相手にとってどうなのか？を確認すること」。良かれと思つて言ったこと、したことが、相手を傷つけてしまったら、どちらも幸せではありません。

失敗はあるけど、見直せます。

11月11日、市民文化会館で開催された岩手県主催の『農山漁村で輝く女性活躍促進シンポジウム』「女性や若者に選ばれる農林水産業を目指して」を知つておきたいアンコンシャス・バイアス」を聴講し、再認識しました。

皆が互いの存在を認め合い、生きづらさを抱える人を無くしたい、そんな宮古市でありたいと強く願います。

私自身も、言動を見つめ直しながらか、学び続けていきます。「共に生きる」です。



講師を務めた（一社）アンコンシャスバイアス研究所 太田博子理事

【広告】

住まいのことなら何でもお任せください

畳 襖 障子・クロス・カーテン
建具 網戸 リフォーム

UEDA
「リフォーム」ご相談下さい
Tel.0193-62-3416 有限会社 上田豊店
宮古市板屋4丁目5-23【営業時間】AM8:00~PM7:00

【広告】 広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について、市が推奨などをするものではありません。

【広告】

広報みやこでは、掲載を希望する広告を随時募集中です。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

■規格 縦45ミリ×横81ミリ

〒 市企画課広報係（市役所4階、☎68-9065）

